

大滝ダム運用環境調査委員会
第7回委員会 議事要旨

開催日時：平成 21 年 6 月 23 日(火) 14:00～16:00

開催場所：大阪国際交流センター 3 階会議室 1・2（大阪市天王寺区上本町 8-2-6）

出席者：

委員長 田中 哲夫（兵庫県立大学 准教授）
委員 角 哲也（京都大学 防災研究所 教授）
委員 井伊 博行（和歌山大学 システム工学部 教授）
委員 竹門 康弘（京都大学 防災研究所 准教授）
委員 矢田 敏晃（元大阪府立淡水魚試験場 場長）

1．議事

(1)第 6 回委員会議事要旨及び平成 20 年度現地調査結果の報告

- ・平成 20 年度の現地調査結果について、報告された。

(2)平成 21 年度調査方針の検討

- ・全体の調査計画がわかるようにする。
- ・これまでの調査結果を踏襲し、実施する。
- ・浮遊性プランクトンに着目して欲しい。
- ・大滝ダムに関して調査実施されている全調査を整理すること。

2．審議内容

- ・因果関係（ストーリー：仮説）を検討するような形で解析を進めること。
- ・今年度は節目の年であるので、大滝ダムの流入量と放流量がほぼ同じであり、貯水池が小さい現状の特徴を踏まえて、整理を行う。
- ・調査時は物理環境を記録すること。
- ・出水時の濁度と SS の関係は今後にも活かせる資料であり、再検討すること。
- ・1 mm 以下の細粒分の組成にも着目すること。

3．今後の予定

次回委員会は、例えば勉強会といったかたちで、秋位に開催する。

以上